

令和8年度 運営会議

目 次

I	令和7年度決算及び令和8年度予算	1
II	課題と取組	
1	高速道路ネットワークの強化	7
2	構造物の維持管理及び耐震対策	13
3	災害対応	18
4	事故・渋滞対策	20
5	お客様サービスの推進	26
6	その他	30



令和8年6月3日

福岡北九州高速道路公社

I 令和7年度決算及び令和8年度予算

(1) 令和7年度決算

決算見込

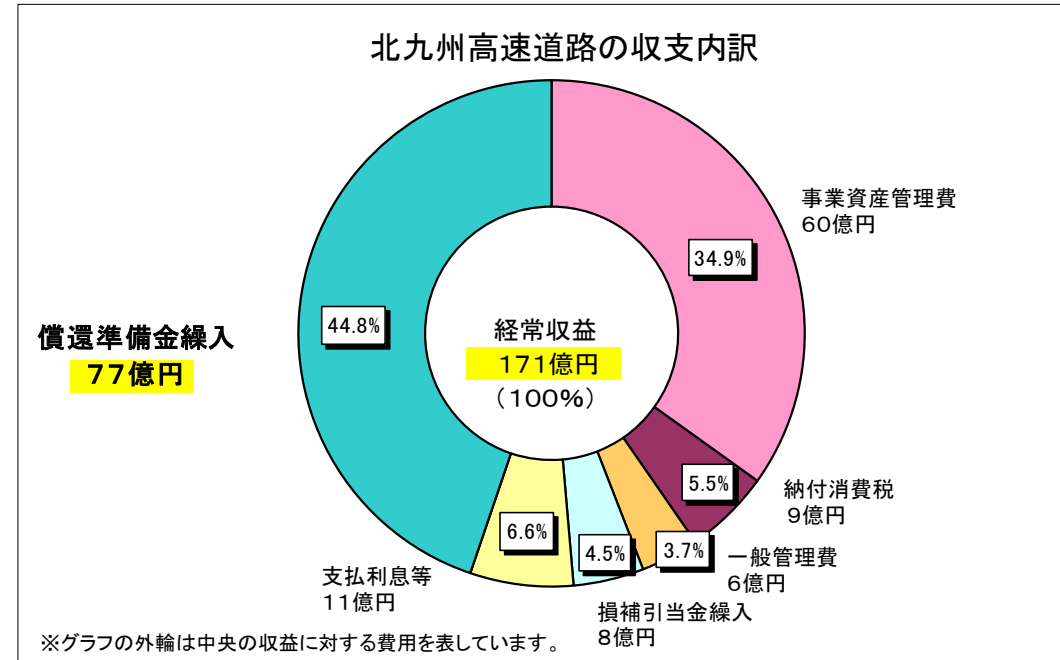
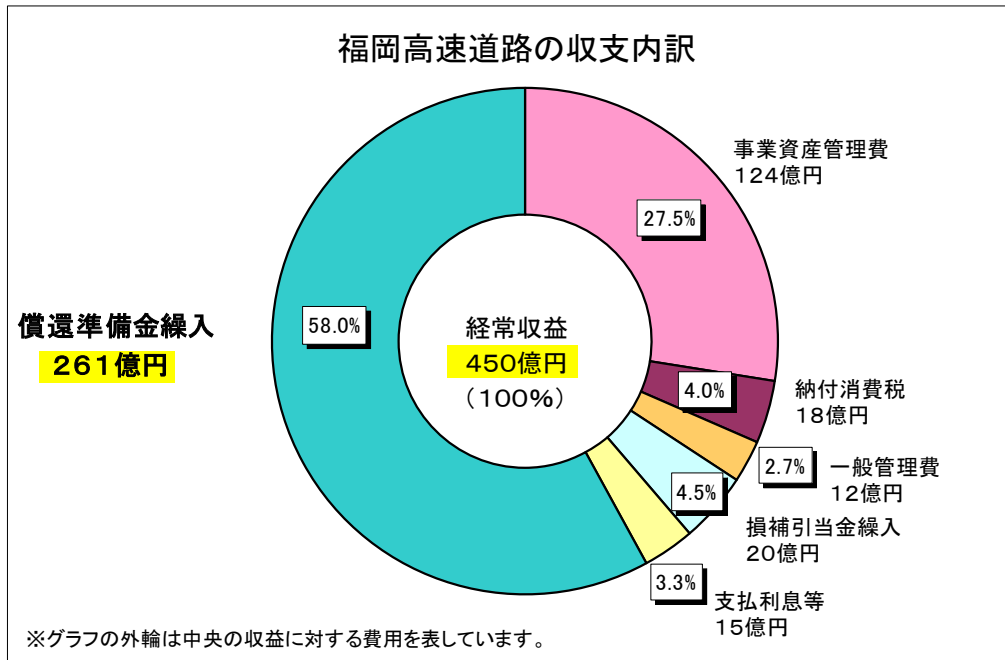
① 損益の概要

< 福岡高速 >

令和7事業年度の福岡高速道路部門の損益は、
 経常収益 **450億円** に対し、経常費用 **189億円**、
 差引き収支差は **261億円** となり、
 これを償還準備金繰入として計上します。

< 北九州高速 >

令和7事業年度の北九州高速道路部門の損益は、
 経常収益 **171億円** に対し、経常費用 **95億円**、
 差引き収支差は **77億円** となり、
 これを償還準備金繰入として計上します。



※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

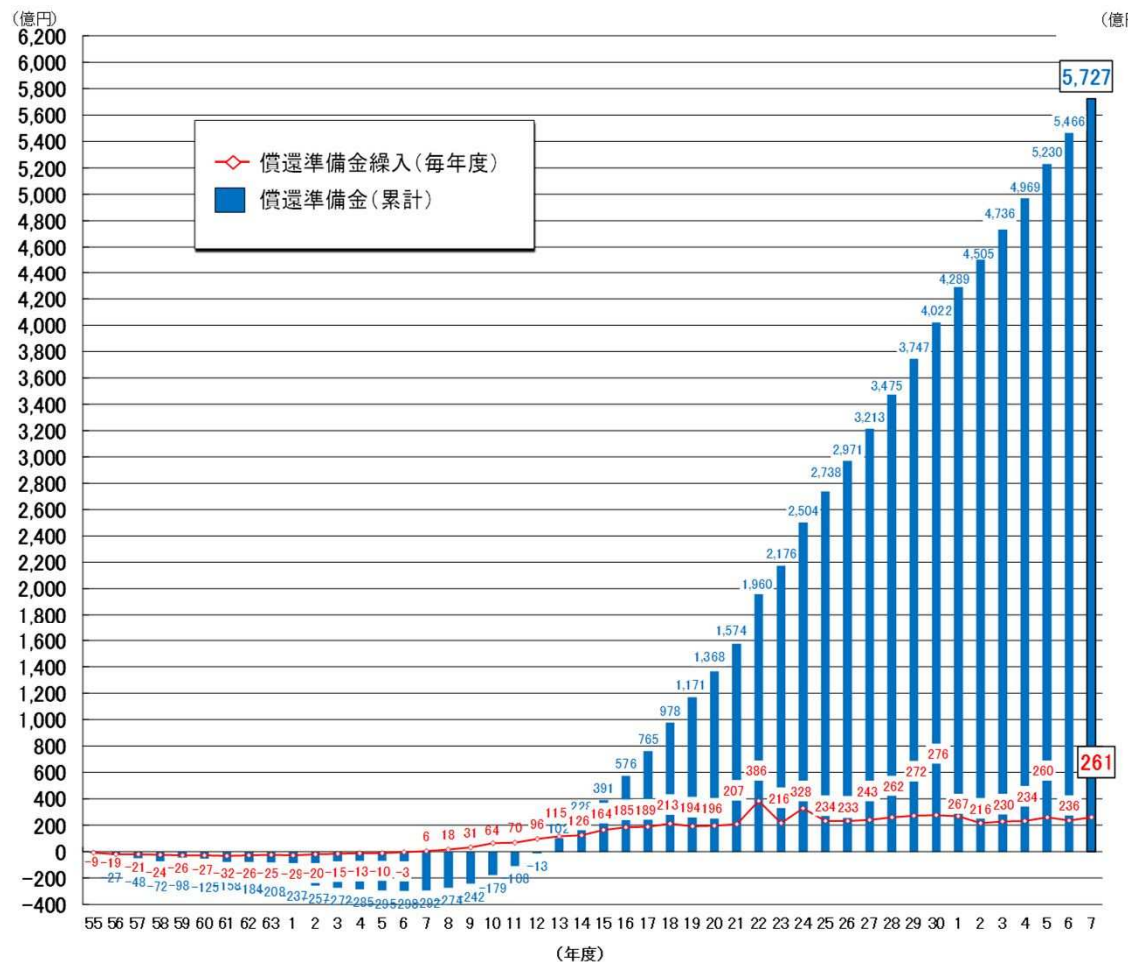
I 令和7年度決算及び令和8年度予算

(1) 令和7年度決算

決算見込

② 償還準備金の推移と償還状況 ＜福岡高速＞

令和7年度の償還準備金繰入は、261億円で、年度末の償還準備金の累計は5,727億円です。償還率は62.1%で前年度比2.0ポイント増加しています。



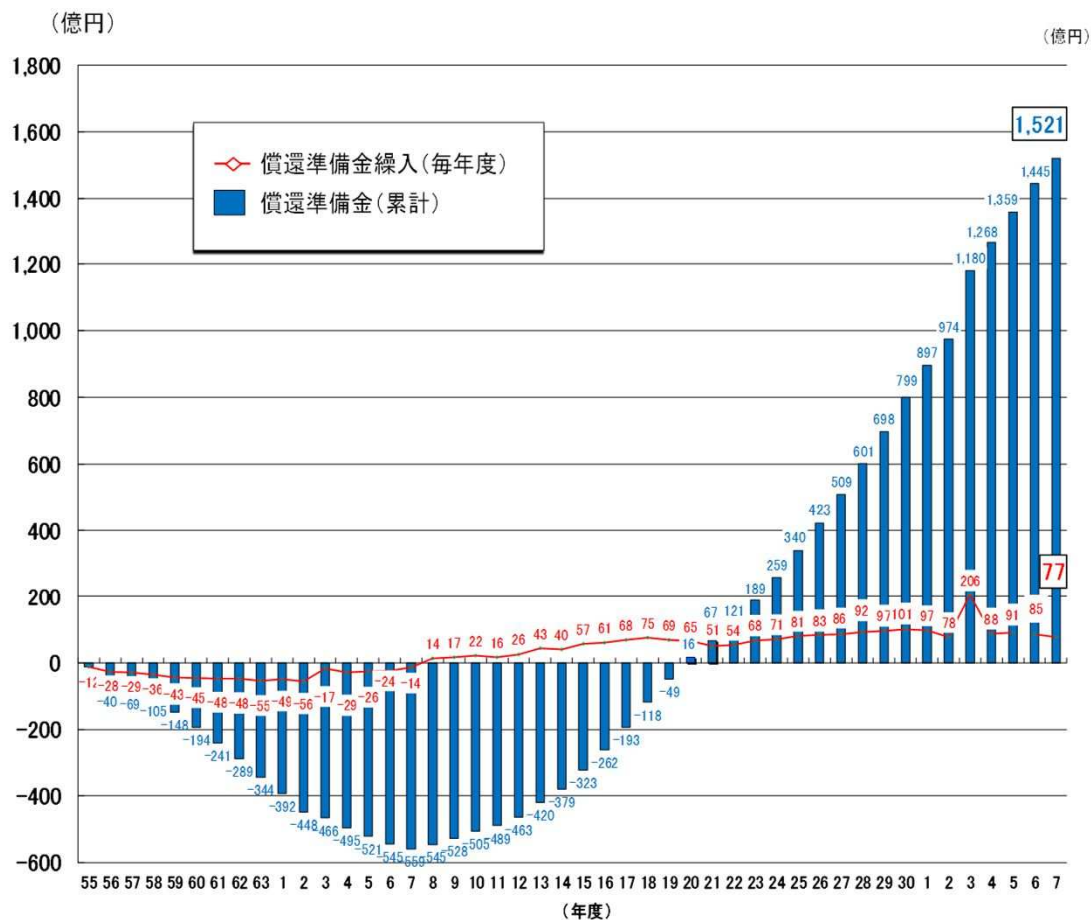
(1) 令和7年度決算

② 償還準備金の推移と償還状況

決算見込

<北九州高速>

令和7年度の償還準備金繰入は、77億円で、年度末の償還準備金の累計は1,521億円です。償還率は39.8%で前年度比1.7ポイント増加しています。



(2) 令和8年度予算

① 事業実施計画

○建設事業

福岡高速においては、令和3年度から事業着手した福岡高速3号線(空港線)延伸事業を、また、北九州高速においては、令和5年度から事業着手した北九州高速5号線延伸(戸畑枝光線)事業及び耐震補強事業を、引き続き、実施します。

○管理事業

「安全で快適な都市高速」確保のため、福岡高速における老朽化・予防保全対策、北九州高速における大規模修繕など、引き続き、営業中道路(福岡高速59.3km、北九州高速52.2km)の適正な維持管理に努めてまいります。

② 収入支出予算

(単位:億円)

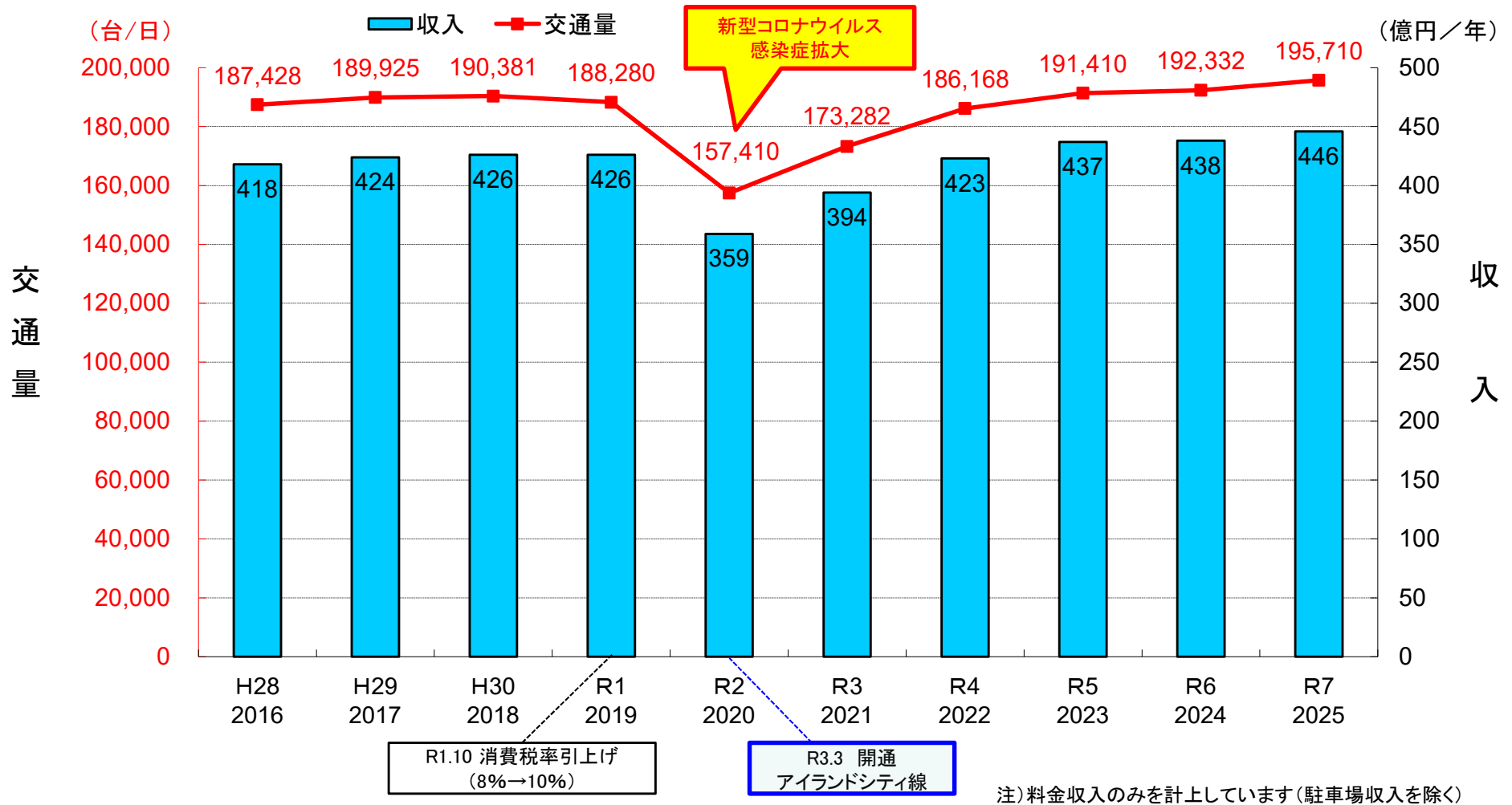
事業区分	収 入				支 出			
	項 目	福岡高速	北九州高速	計	項 目	福岡高速	北九州高速	計
建設事業	設立団体出資金	6	3	8	高速道路建設費	32	1	32
	政府無利子貸付金	9	4	14	高速道路改築費	0	15	15
	特別転貸債	13	6	19	一般管理費	4	1	5
	民間借入金	9	4	14	建設利息	2	0	2
	小 計	38	17	54	小 計	38	17	54
管理事業	高速道路料金収入	438	166	605	維持改良費	154	76	231
	駐車場料金収入	2	1	3	業務管理費	94	39	134
	原因者負担金受入	1	1	1	(内 納付消費税)	(27)	(10)	(38)
	民間借入金	67	165	232	原因者負担補修費	1	1	1
	業務外収入	1	1	1	一般管理費	14	7	21
					業務外支出	244	211	455
					(内 元金償還金)	(232)	(199)	(430)
					(内 支払利息等)	(13)	(12)	(25)
小 計	508	334	842	小 計	508	334	842	
その他	受託業務収入等	13	2	15	受託業務費等	13	2	15
合計		559	353	912		559	353	912

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(3) 交通量と収入の推移

① 福岡高速

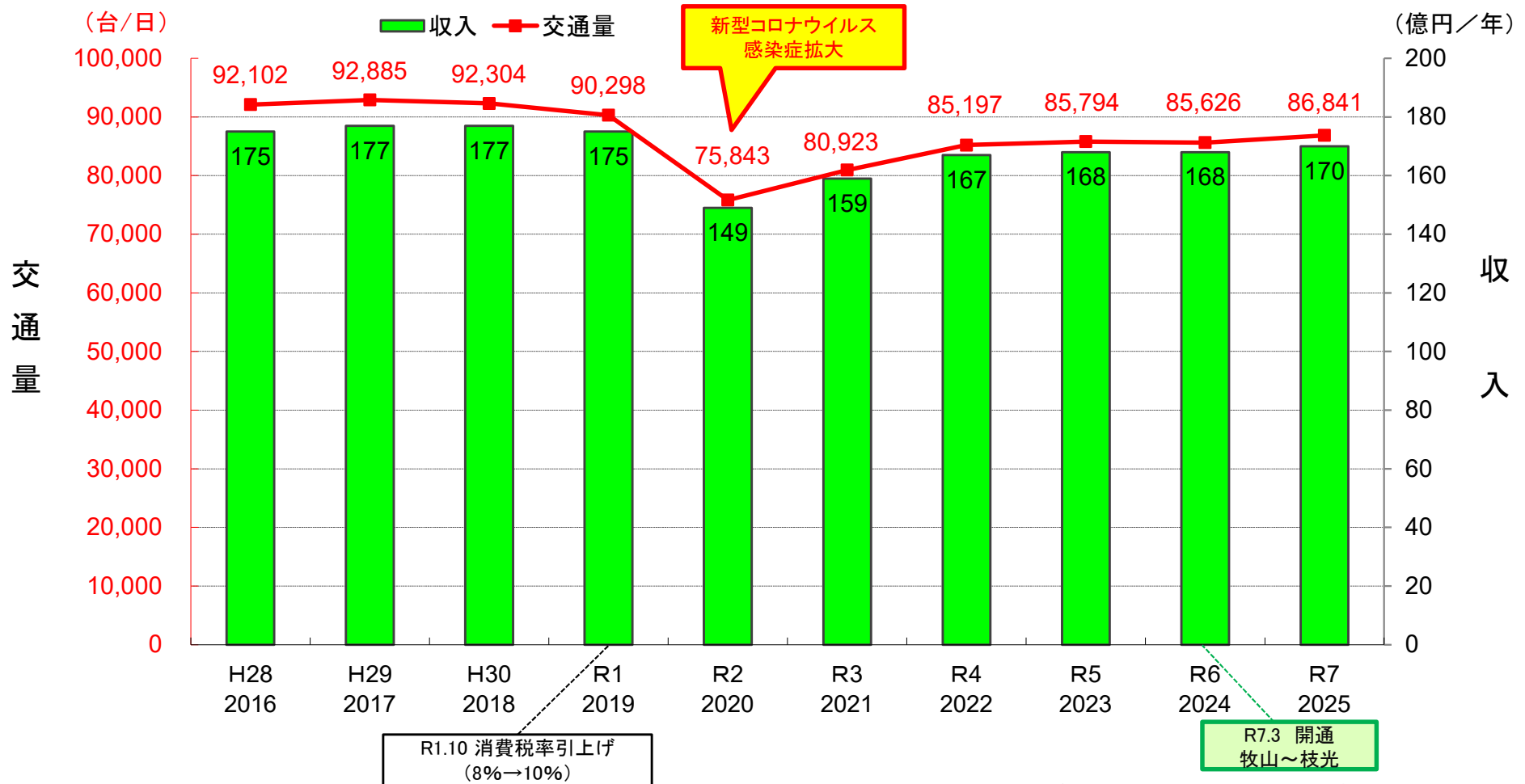
令和7年度は、交通量は前年度比1.8%増、収入は前年度比1.8%増となり、いずれも過去最高を更新しています。



(3) 交通量と収入の推移

②北九州高速

令和7年度は、交通量は前年度比1.4%増、収入は前年度比1.5%増でした。前年度より天候による通行止めの影響が少なく、前年度を上回りました。



Ⅱ 課題と取組

1 高速道路ネットワークの強化

(1) 福岡高速3号線(空港線)延伸

① 目的

福岡空港の機能強化が進められている中、福岡市南部地域や太宰府IC方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、空港口交差点をはじめとする福岡空港周辺道路の混雑緩和を図ります。

② 計画図



▲位置図



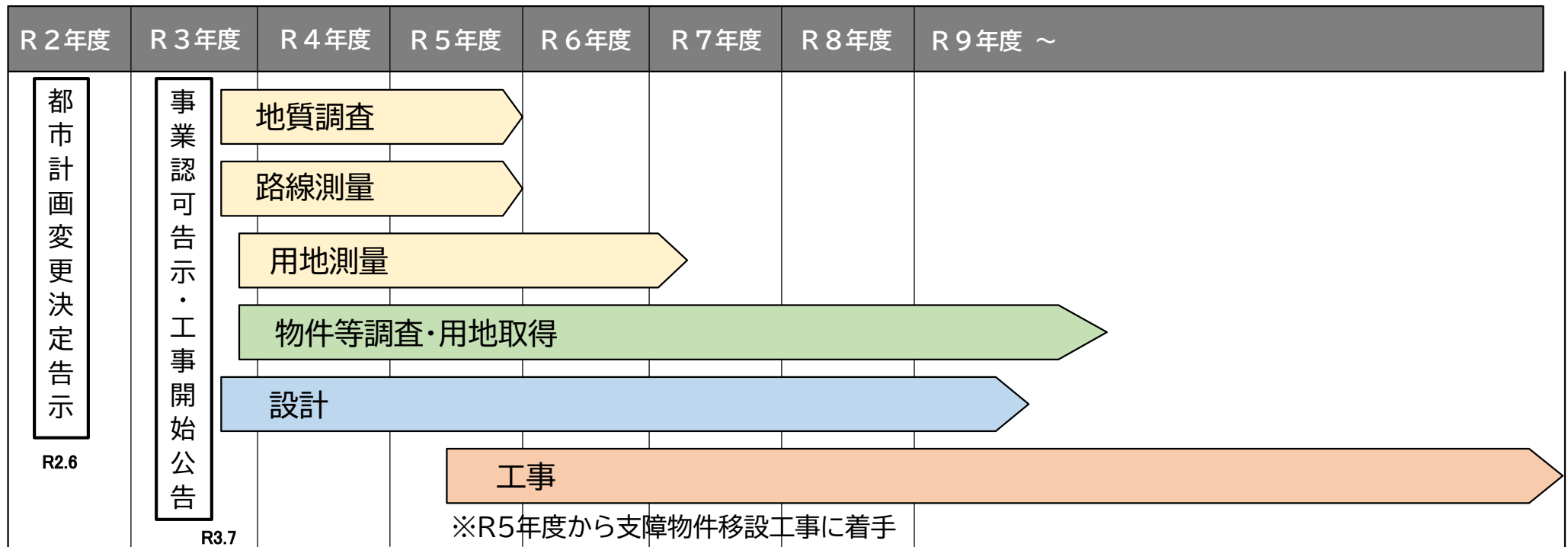
▲計画平面図

1 高速道路ネットワークの強化

(1) 福岡高速3号線(空港線)延伸

④ スケジュール

令和7年度は、物件等調査・用地取得や支障物件移設工事等を実施しました。
令和8年度は、物件等調査・用地取得を進めるとともに、設計や工事を行います。



1 高速道路ネットワークの強化

(2) 北九州高速5号線延伸(戸畑枝光線)

① 目的

放射環状型の自動車専用道路ネットワークを構築し、円滑な物流・人流の支援及び災害に強い強靱なネットワークの形成を図ります。

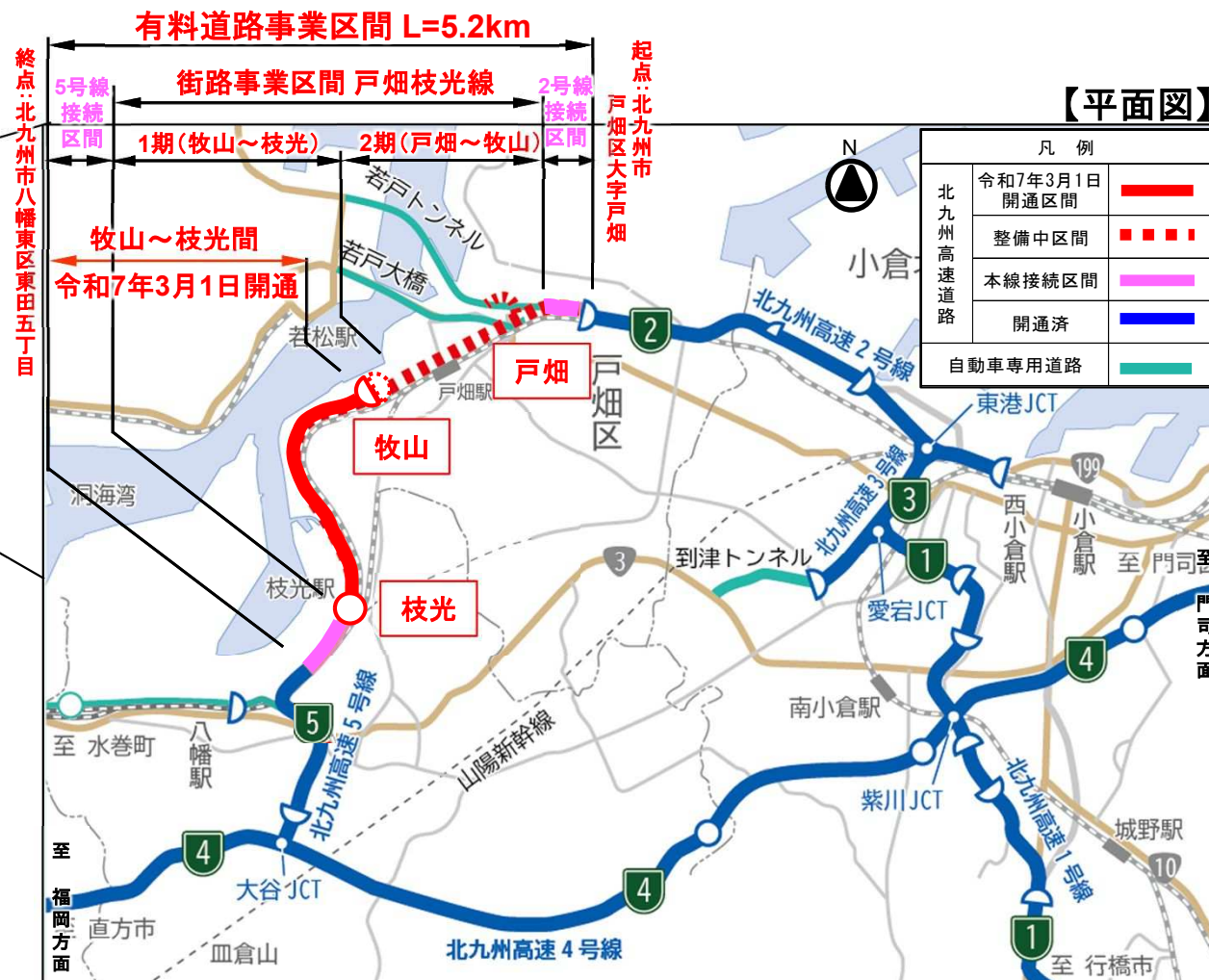
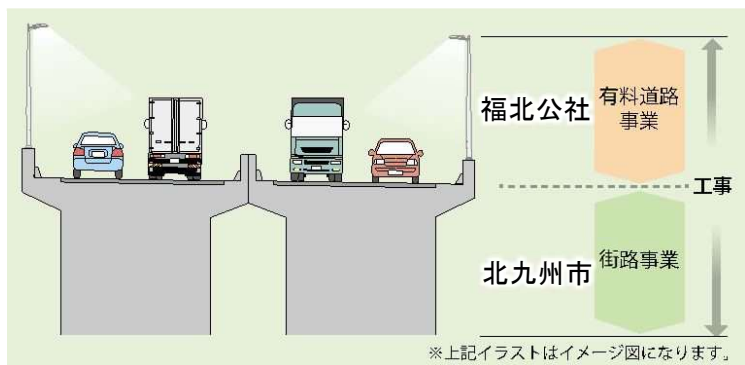
② 計画図

【位置図】



【合併施行方式の採用】

令和5年度より北九州市の街路事業との合併施行方式で整備中



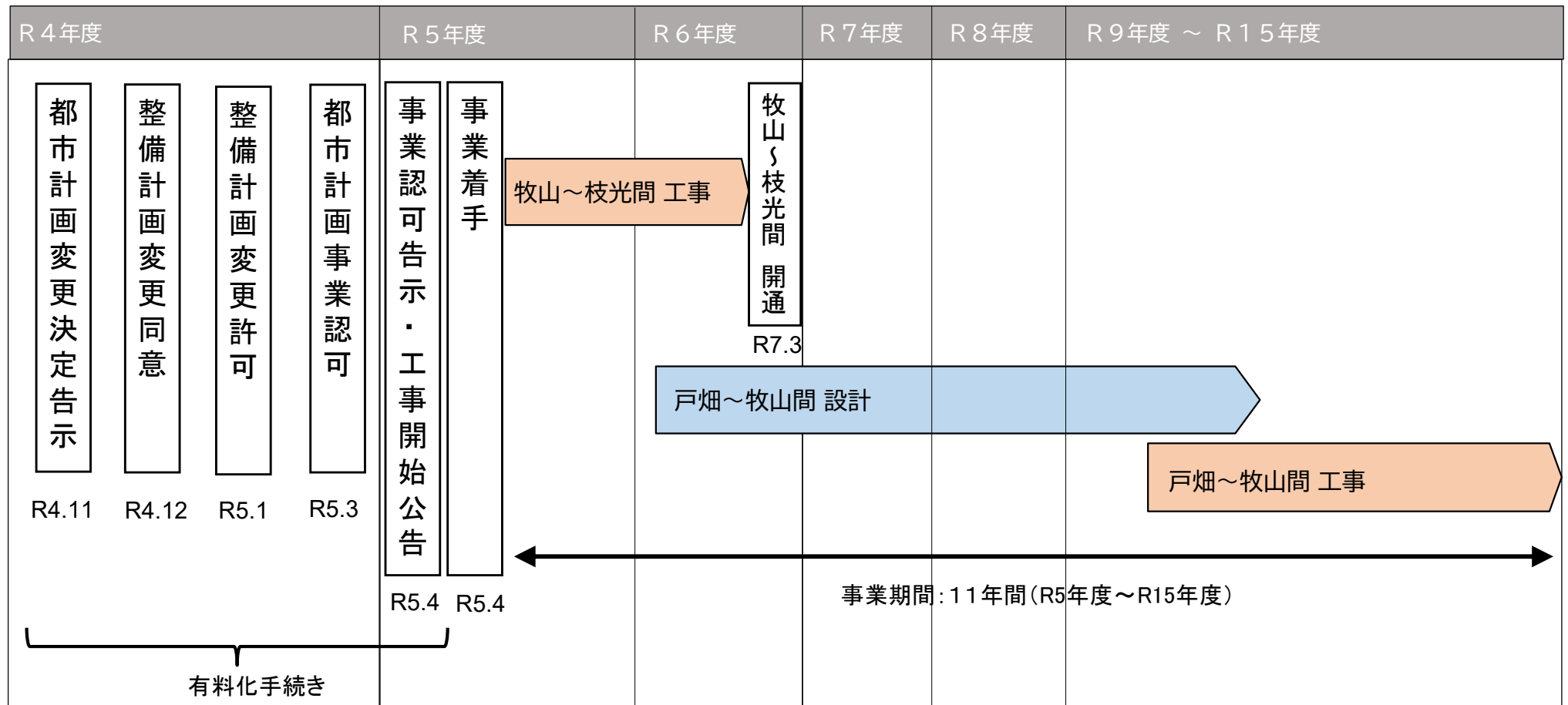
※5号線(牧山方面)と若戸大橋は接続していません。

1 高速道路ネットワークの強化

(2) 北九州高速5号線延伸(戸畑枝光線)

③ スケジュール

令和7年度は、戸畑～牧山間の道路設計を行いました。令和8年度も引き続き、北九州市と連携し道路設計を進めていきます。

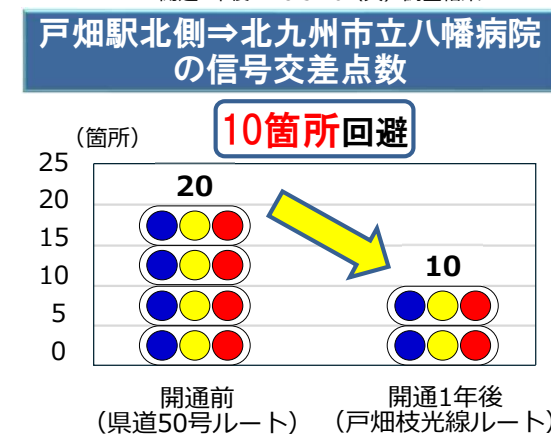
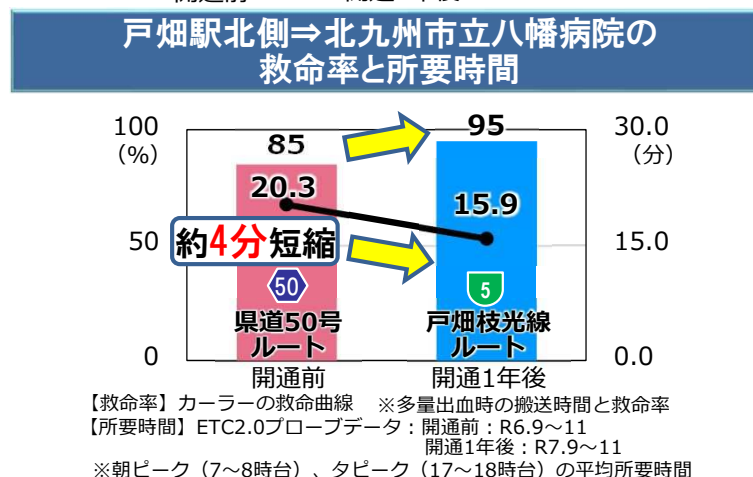
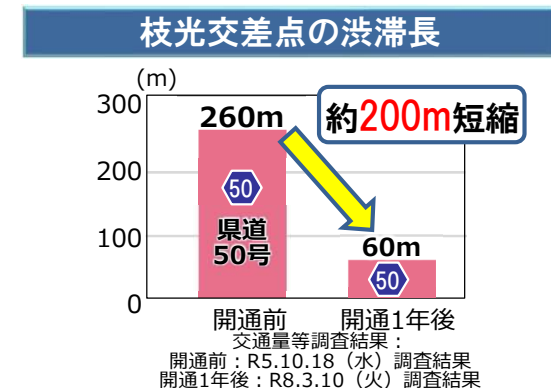
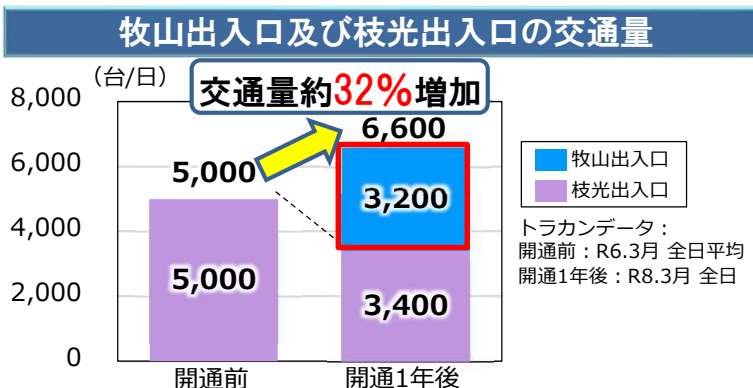
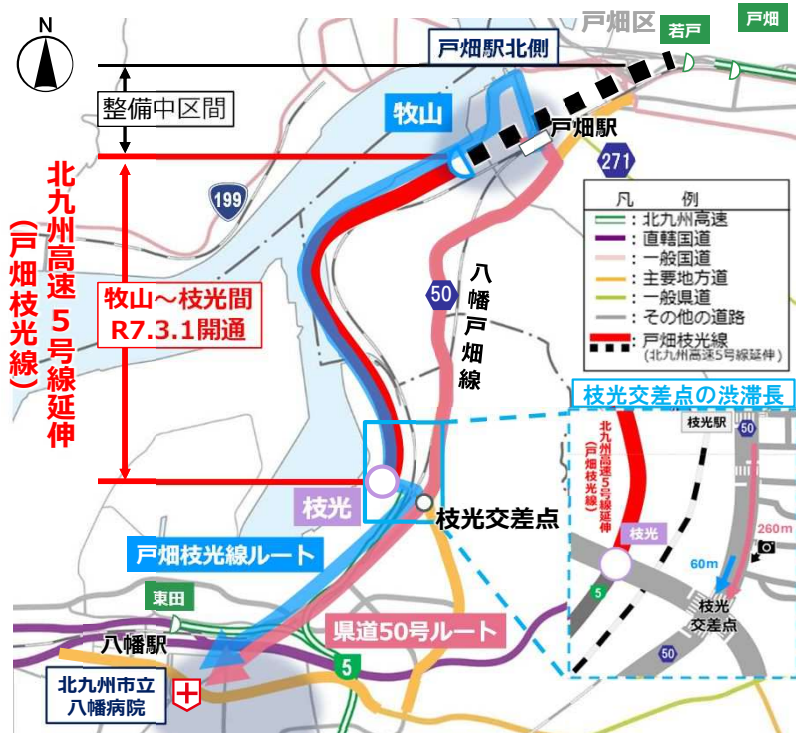


1 高速道路ネットワークの強化


(2) 北九州高速5号線延伸(戸畑枝光線)

④ 整備効果(開通1年後)

- ・枝光出入口の交通が牧山出入口へ一部転換するとともに、両出入口を合わせた交通量は約32%増加しました。
- ・枝光交差点の渋滞長は、開通前と比較すると約200m短縮しております。
- ・救急搬送時の所要時間が約4分短縮され(救命率向上に寄与)、信号交差点も10箇所回避できることから、搬送患者の負担軽減等に寄与しています。



■北九州消防局員の声 (R8.2ヒアリング)
開通前は、混雑時でも県道50号を通行していたが、戸畑枝光線を利用し、迅速な搬送が可能になった。また、車間を縫う運転が減り、搬送患者の負担が軽減している。全線開通によるルート選択肢が広がるため、早期整備を期待する。



(1) 維持管理の取組方針

老朽化が進む都市高速道路の機能と健全性を確保するため、令和3年度に更新したインフラ長寿命化計画(行動計画)等に基づき、メンテナンスサイクルを実施するとともに、DXを活用したシステムの導入・活用による点検・管理の効率化や、周辺環境に配慮した取組を行ってまいります。

① メンテナンスサイクルの実施(R6年度から法令に基づく点検3巡目開始)



② 維持管理の効率化(DX)・周辺環境への配慮

3D点群データ (任意断面図)

【DXを活用したシステム】

GISデータ

図書

現況

地形

点検

(BIM/CIM) データ連携

360°映像

航空レーザー点群データ

樹木

地盤面

寸法計測

終点

始点

IH加熱器

アスファルト舗装

鋼床版

加熱により舗装の定着部を軟化させ騒音などを抑制

維持管理支援システムの導入
(地図情報と3D点群データ等の統合による点検・管理の効率化)

IH式舗装撤去工法
(舗装撤去前に加熱することで騒音・振動・粉塵を抑制)

(2) 福岡高速の老朽化・予防保全対策

路線延長の約3割が供用から30年以上経過し、橋梁などの老朽化が進んでいるため、平成24年度から老朽化・予防保全事業を実施しています。

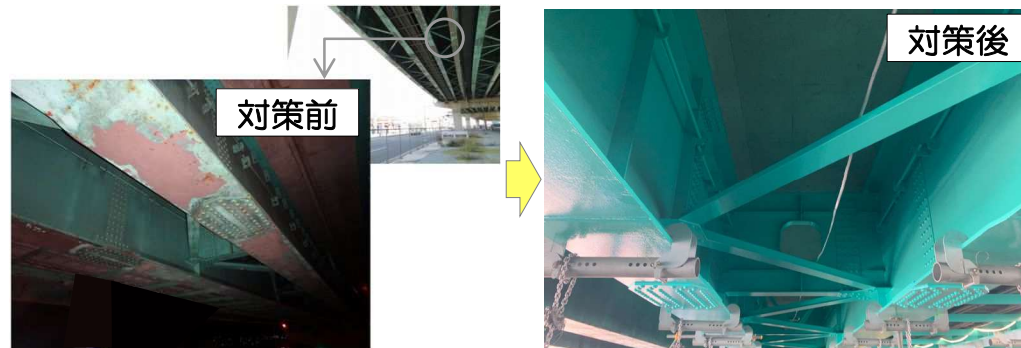
令和4年度までに1号線の香椎～千鳥橋JCTの工事が完了し、現在、2号線及び4号線の対策を推進しています。また、令和5年度からは千鳥橋JCT～榎田のリフレッシュ工事(床版防水・舗装改良等)に取り組んでいます。

老朽化・予防保全事業

- ・対象路線: 福岡高速1～5号線
- ・事業期間: 平成24年度～令和13年度の20年間
- ・対策内容: 床版防水、床版補強(炭素繊維シート貼付) 塗装塗替、恒久足場設置等

対策の状況

■ 塗装塗替



■ 恒久足場の設置



恒久足場による点検・補修の効率化



(2) 福岡高速の老朽化・予防保全対策 (リフレッシュ工事の実施状況)

令和6年度に続き、令和7年11月には東浜(太宰府・天神方面)入口から千鳥橋JCT(香椎→太宰府方面)の区間において、12日間の終日通行止めを行いリフレッシュ工事を実施しました。
 令和8年度以降も順次工事を実施するとともに、工事の実施に際しては、テレビCM等を活用した通行止めの広報により、お客さまのご理解をいただきながら工事を進めていきます。

■令和7年度の工事規制の概要

規制期間: 令和7年11月15日(土) 0:00 から
 11月26日(水) 24:00 (12日間)

規制区間: 東浜入口 ⇒ 千鳥橋JCT
 (太宰府・天神方面) (香椎→太宰府方面)



■広報の概要

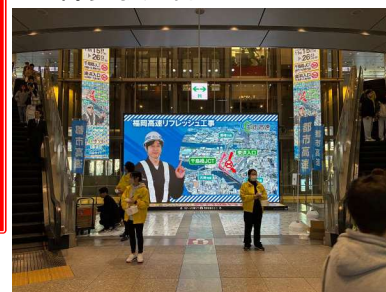
<テレビCM>



<リーフレット>



<博多駅広告のジャック>

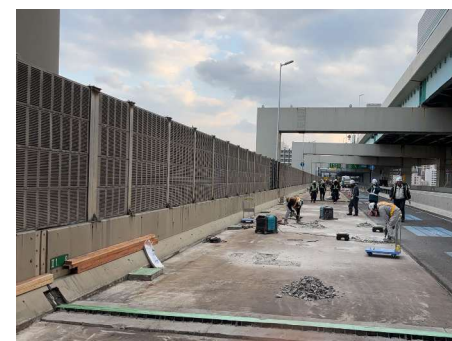


■工事写真

<舗装補修>



<床版コンクリート補修状況>



<塗膜防水状況>



(3) 北九州高速の老朽化対策

1～3号線の路線延長の約9割が供用から30年以上経過し、橋梁等の老朽化が進んでいるため、大規模修繕事業を実施しています。令和4年度から床版防水等の橋梁上面工事を進めており、上面工事が完了した箇所について、令和6年度からは塗装塗替等の橋梁下面工事にも順次着手しています。引き続き、供用年次や老朽化の状況等を踏まえ工事を進めていきます。

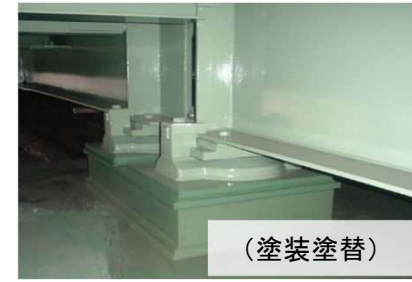
大規模修繕事業

- ・対象路線: 北九州高速1～3号線
- ・事業期間: 令和4～13年度の10年間
- ・対策内容: 床版補修、床版防水、
床版補強(炭素繊維シート貼付)、
鋼製桁等の塗装塗替、
交通管制センターの更新 等

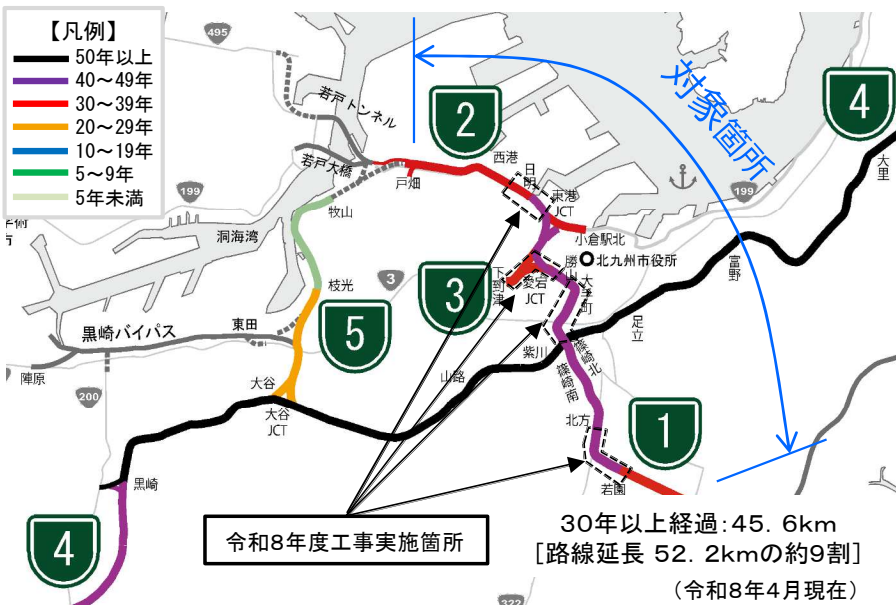
【床版補修、床版防水の施工】



【鋼製桁の塗装塗替】



【交通管制センターの更新】

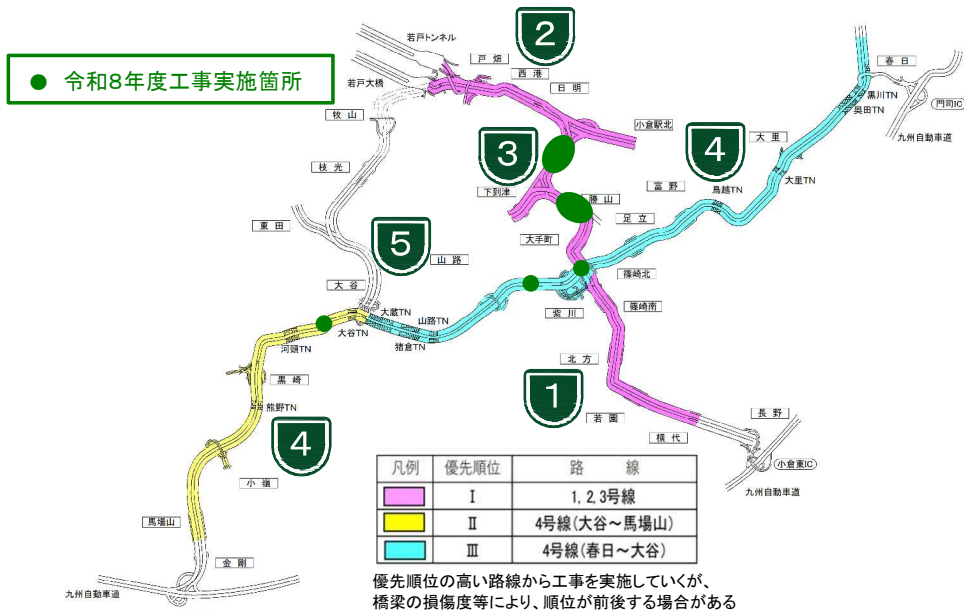


(4) 北九州高速の耐震補強事業

大規模地震発生時の救急救命・復旧活動を支えるため、兵庫県南部地震や熊本地震と同程度の地震でも速やかな機能回復が可能な水準で令和5年度から耐震補強事業を実施しています。コスト削減の観点から、大規模修繕事業とも合わせながら耐震補強工事を進めています。

耐震補強事業

- ・対象路線：北九州高速1～4号線
- ・事業期間：令和5～21年度の17年間
- ・対策内容：支承部の補強、縁端拡幅、連結ケーブル設置 等
(大規模地震に対し、路面の大きな段差やずれを防止)



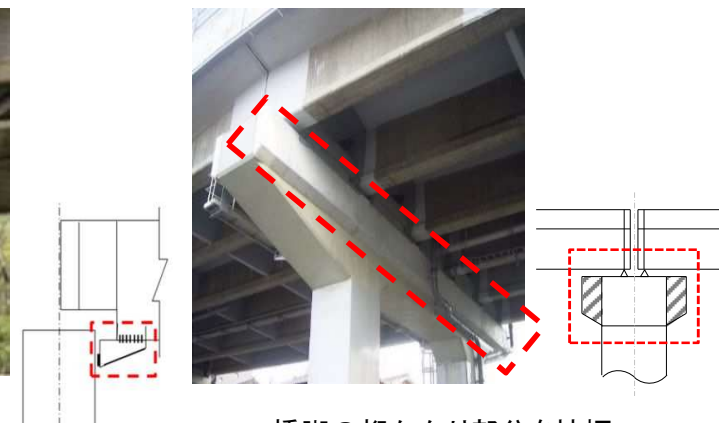
※平成20年度までに実施した耐震対策により、落橋・倒壊しないレベルの耐震性能は全線確保しています

耐震補強のイメージ

【支承部の補強】

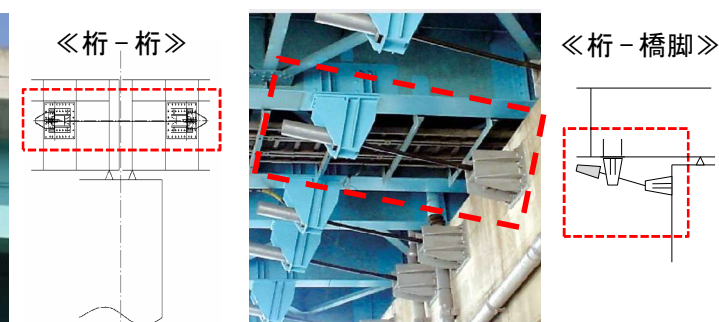


【縁端拡幅】



橋脚の桁かかり部分を拡幅

【連結ケーブル設置】



桁同士や、桁と橋脚を互いに連結

(1) 令和7年8月豪雨 被災の復旧【北九州高速】

- ・令和7年8月豪雨により、のり面崩壊や土砂流出など4号線で被災しましたが、即座に応急復旧に着手し、被災から2日後の朝には全線で道路ネットワーク機能を回復しました。
- ・本復旧実施中の箇所については、梅雨時期の完成に向けて鋭意工事を推進しております。
- ・本復旧完了までは通行止めの判断基準を通常の連続雨量250mmから150mmへ引き下げた降雨特別基準の設定等により、お客様の安全確保に努めております。

8月10日(日) 15:30 4号線・5号線通行止め
(降雨基準250mm到達のため)

18:30 のり面崩壊・土砂流出等発生

8月11日(月祝) 20:34 4号(金剛～足立)・5号線
通行止め解除
(降雨特別基準150mm運用)

8月12日(火) 6:15 全線通行止め解除
(一部車線規制)
(降雨特別基準150mm継続)

いち早く機能回復

本復旧については被災箇所
8箇所の内5箇所完了



凡 例

←	入 口	●	:被災箇所(本復旧実施中)
←	出 口	●	:被災箇所(本復旧完了済)

応急復旧状況



(2) 災害時に備えた協定

大規模な災害発生時に、復旧対応を迅速化するため、関係機関である九州地方整備局、都市高速4団体及び民間9団体と協定を締結し、災害発生に備えています。令和6年度には新たにソフトバンク(株)と協定を締結しました。

大規模な災害時の相互応援に関する協定（九州地方整備局）

目的: 資機材及び職員の相互応援

【令和元年7月5日締結】

○国土交通省九州地方整備局

震災時等における応急復旧業務の相互協力に関する協定（都市高速）

目的: 災害時の人材・資機材の相互協力

【平成24年3月7日締結】

○首都高速道路株式会社 ○阪神高速道路株式会社 ○名古屋高速道路公社 ○広島高速道路公社 ○福岡北九州高速道路公社

災害時における応急対策に関する協定（民間9団体）

目的: 災害時の都市高速の復旧に資する協定

【令和元年6月19日締結】

【平成18年3月1日締結】

- 日本建設業連合会(土木一般)
- 日本橋梁建設協会(鋼構造物)
- PC建設業協会(PC構造物)
- 日本道路建設業協会(舗装等)

- 建設コンサルタンツ協会(測量設計)
- 福岡県地質調査業協会(地質調査)
- 福岡県建設業協会(建築・土木一般)
- 【令和4年11月1日締結】
- KDDI株式会社(通信)
- 【令和7年3月31日締結】
- ソフトバンク株式会社(通信)



<R7年度 福岡県総合防災訓練>

(3) 災害時に備えた計画(BCP)

大規模災害時において業務を継続するため、優先的に実施すべき業務、対応手順、平常時の備えと対策等を定めた「大規模災害対応業務継続計画(BCP)」を策定しています。

BCPに基づく訓練として、緊急車両等が通行可能となる段差解消資材を用いた道路啓開訓練を定期的実施しています。

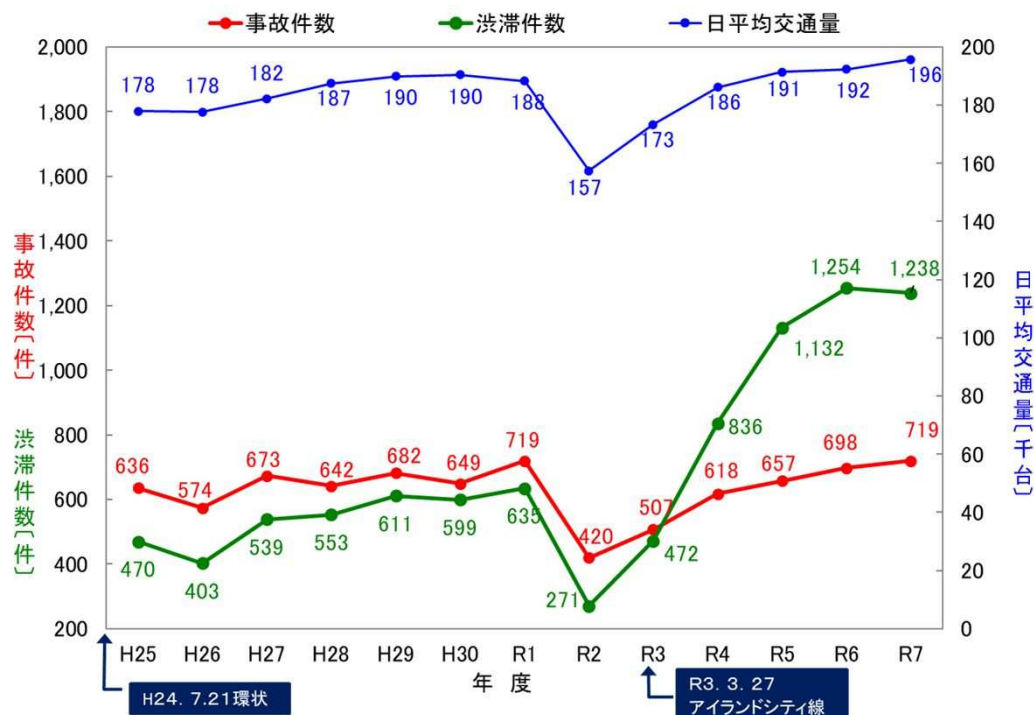
(1) 事故と渋滞の推移

令和7年度において、福岡高速では、交通量が過去最高を更新し、渋滞件数及び事故件数は昨年度と同程度です。

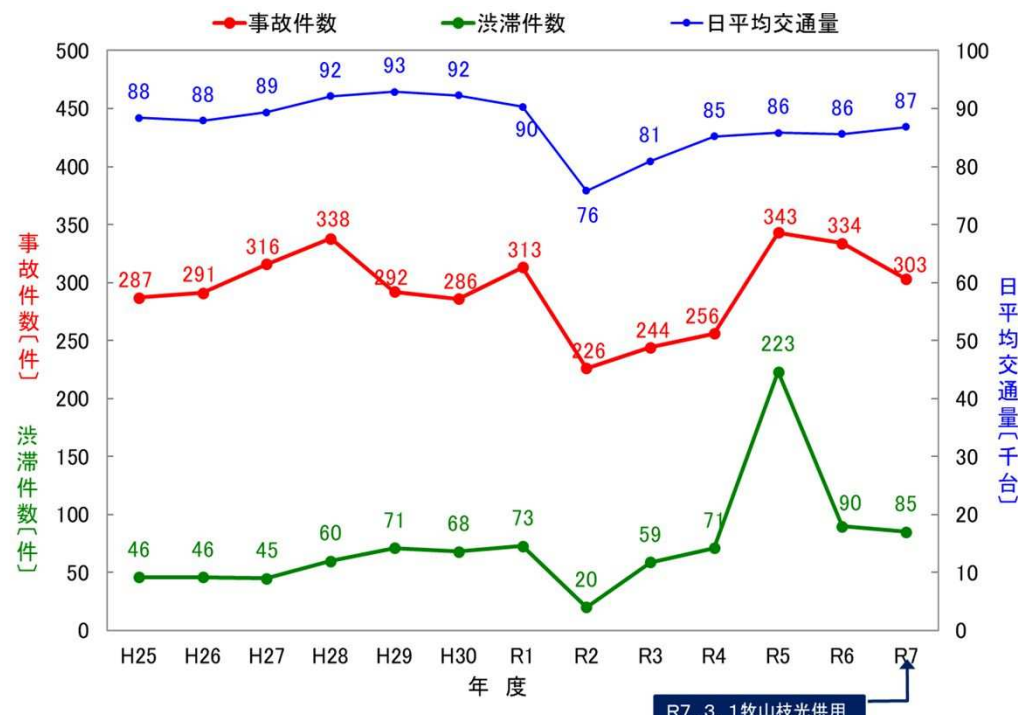
北九州高速では、交通量及び渋滞件数が昨年度と同程度であり、事故件数は減少傾向です。

【事故・渋滞件数】

■福岡高速



■北九州高速



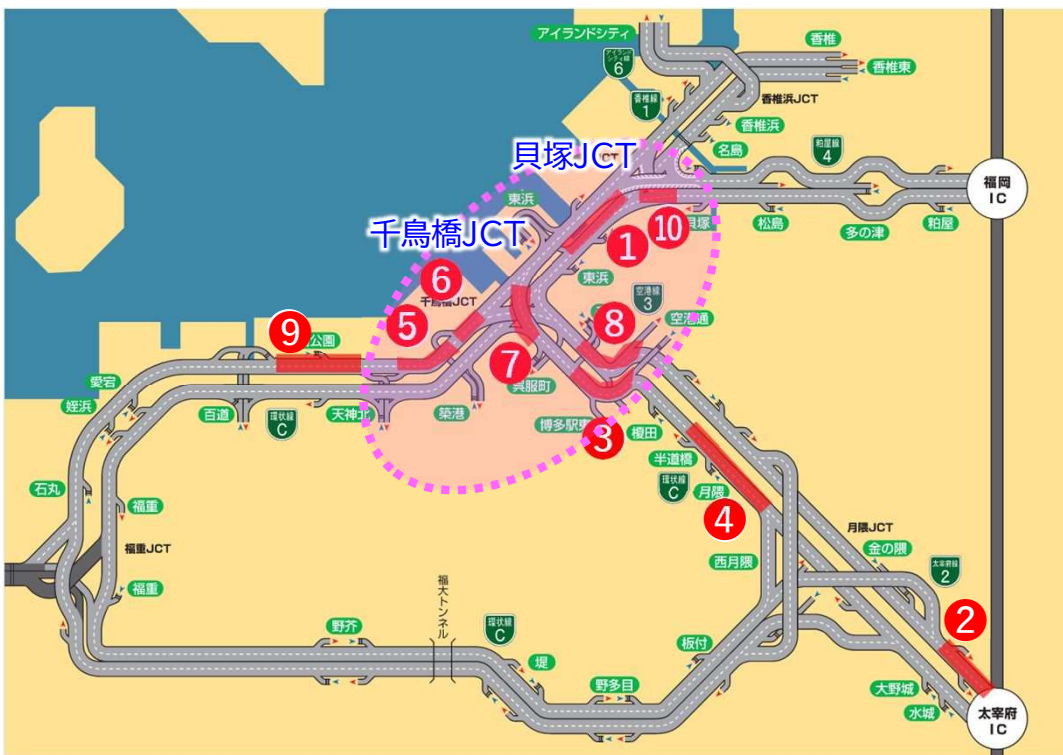
渋滞件数の定義：走行速度20km/h以下で車列長0.5km以上の状態が30分以上継続した場合（事故に伴う渋滞を含む）

(2) 福岡高速の渋滞発生状況

福岡高速

福岡高速における渋滞の多くは、1・2号線に集中しており、全体の渋滞発生件数のうち、約9割を占めています。特に、千鳥橋JCT及び貝塚JCT付近は、都心部発着の交通に加え、東部方面と、南部・西部方面を結ぶ通過交通が混在している影響から、交通が集中し、渋滞が慢性化しています。また、コロナ前の令和元年度と比較すると、全体的に渋滞発生件数が大きく増加しています。

令和7年度 福岡高速 渋滞発生箇所的位置図



福岡高速の主な渋滞発生件数

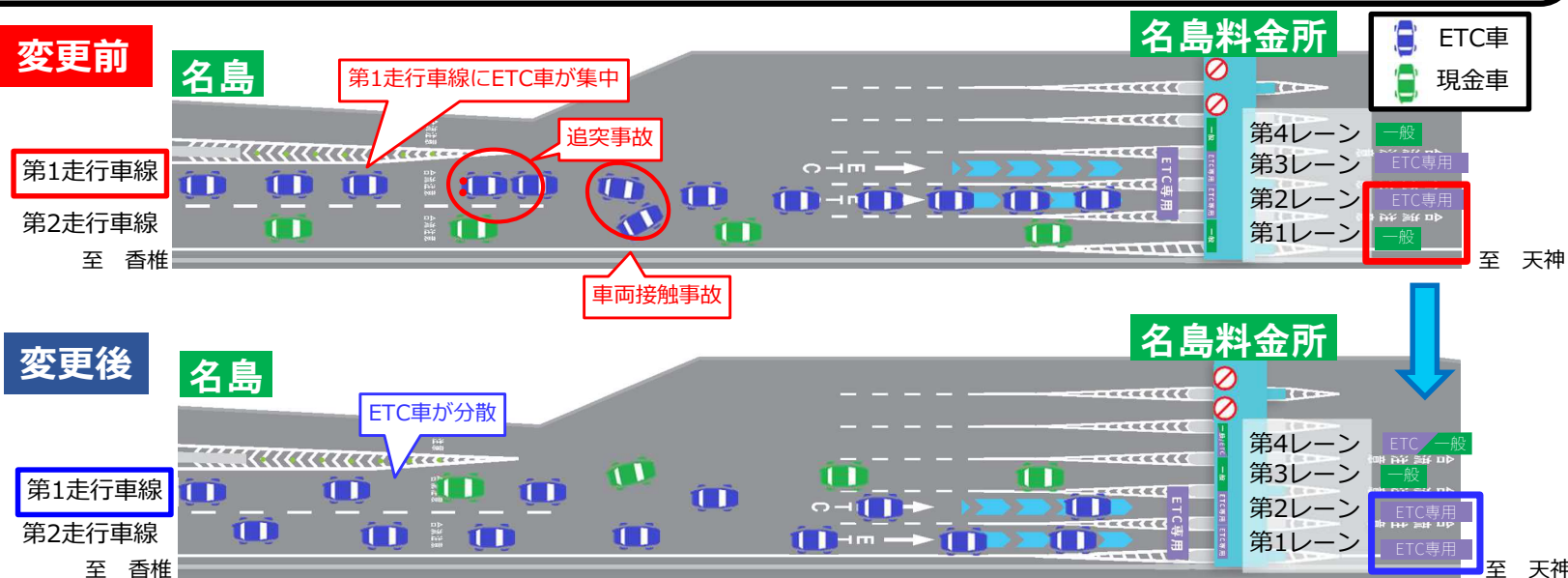
路線	区間	渋滞件数	R7年度		R1年度	増減 (①-②)		
			渋滞原因		渋滞原因			
			交通集中 ①	その他	交通集中 ②			
①	1号線 下り	貝塚JCT西 →東浜	201	182	19	130	52	
②	2号線 下り	大野城 →太宰府IC・水城	199	98	101	12	86	
③	2号線 上り	豊JCT →千代	154	142	12	45	97	
④	2号線 上り	月隈JCT北 →半道橋	123	107	16	36	71	
⑤	1号線 上り	天神北東 →築港	99	92	7	5	87	
⑥	1号線 上り	築港 →千鳥橋JCT西	78	72	6	2	70	
⑦	2号線 上り	千鳥橋JCT南 →JCT東	58	54	4	34	20	
⑧	2号線 下り	千代 →豊JCT	55	50	5	76	-26	
⑨	1号線 上り	百道東 →天神北西	39	21	18	25	-4	
⑩	4号線 上り	貝塚JCT南 →JCT西	33	33	0	10	23	
		その他	199	71	128	27	44	
		全路線 合計	1,238	922	316	402	520	
		1・2号線 合計	1,154	93%	882	272	392	490

4 事故・渋滞対策

(3) 事故・渋滞対策の主な取組

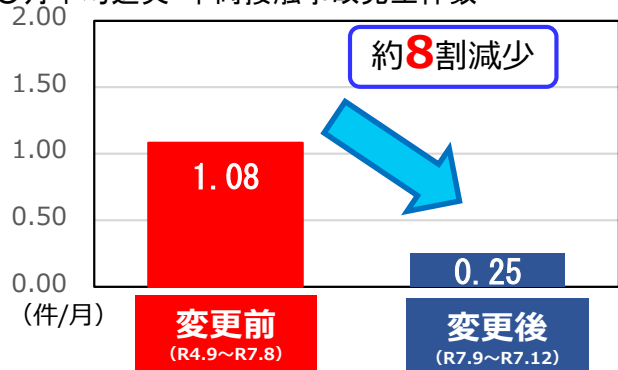
① 事故対策 福岡高速

名島料金所手前では第1走行車線にETC車が集中し、料金所手前での追突事故や車両接触事故が多発していたため、令和7年9月6日に、名島料金所のETC専用レーンの位置を変更しました。
ETC専用レーンの位置変更後、名島料金所手前での事故件数が変更前と比較して約8割減少しました。



■ 交通事故発生件数の変化

○ 月平均追突・車両接触事故発生件数



出典：事故調査 (福岡高速1号線下り3.2kp~3.9kp, R4.9~R7.12)

■ 料金所前の状況の変化



(3) 事故・渋滞対策の主な取組

② 逆走対策 福岡高速



逆走発生件数

	福岡高速 + 北九州高速
R1年度	11
R2年度	9
R3年度	3
R4年度	2
R5年度	6
R6年度	8
R7年度	9

逆走事例の映像

(3) 事故・渋滞対策の主な取組

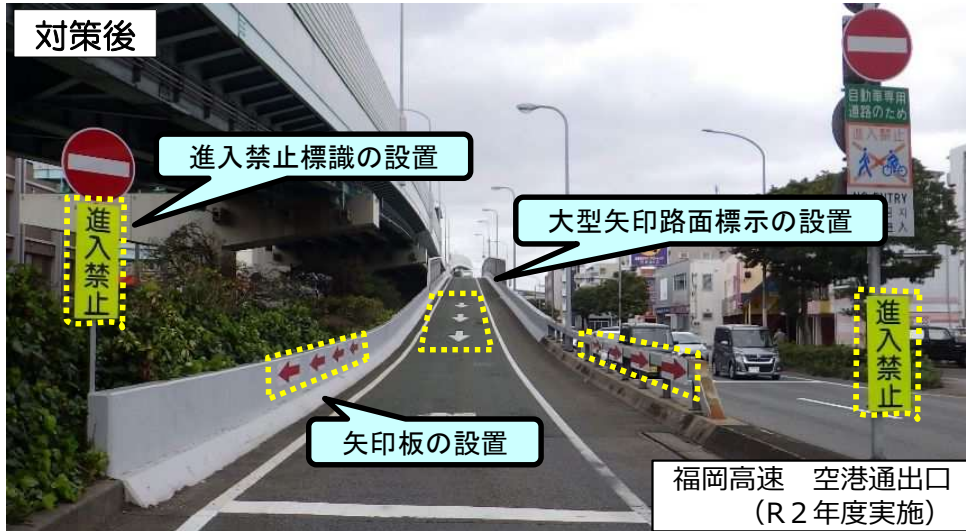
② 逆走対策 福岡高速 北九州高速

令和2年3月に北九州高速で発生した逆走による死亡事故を受けて、両高速で逆走対策を実施し、出口対策は令和2年度に、合流部対策は令和6年度に完了しました。山路・富野PA逆走対策のうち、山路PAは令和7年度に完了し、富野PAは令和8年度に完了予定です。

今後も引き続き、ラジオCMによる注意喚起等を実施していきます。

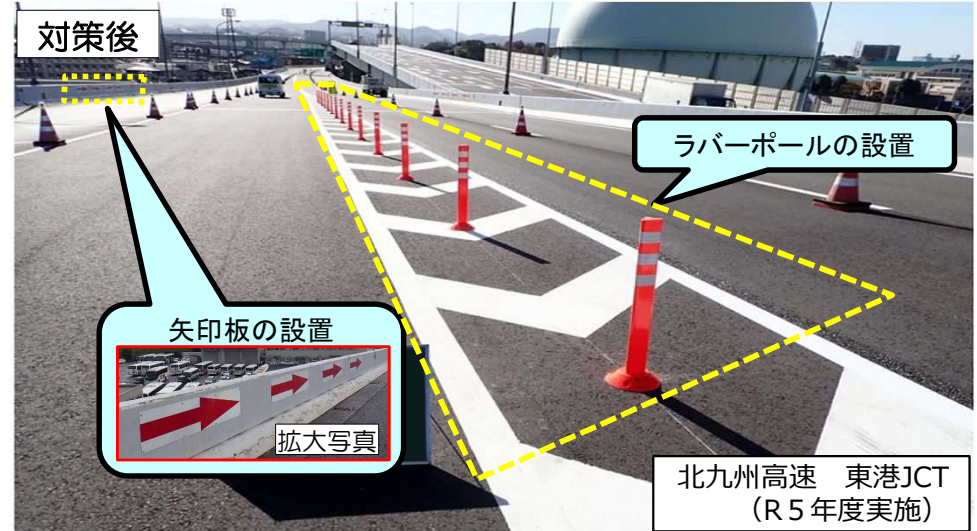
出口対策

- ・福岡38箇所
- ・北九州35箇所



合流部対策

- ・福岡42箇所
- ・北九州38箇所



逆走対策の実績

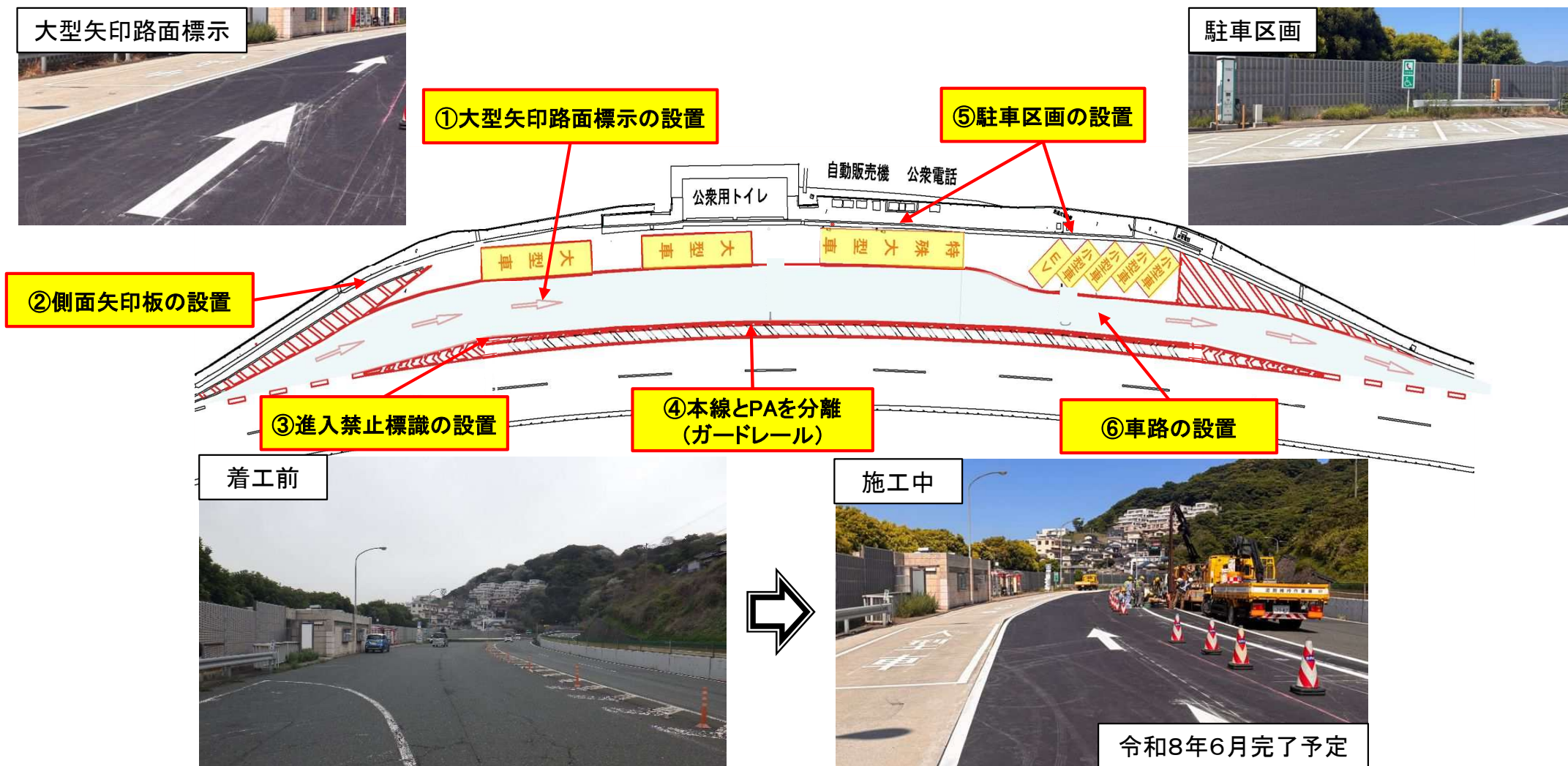
	福岡高速		北九州高速		
	出口対策	合流部対策	出口対策	合流部対策	PA部
計画	38箇所	42箇所	35箇所	38箇所	2箇所
R6年度まで	38	42	35	38	-
R7年度	-	-	-	-	1 (山路PA)
R8年度(予定)	-	-	-	-	1 (富野PA)

4 事故・渋滞対策

(3) 事故・渋滞対策の主な取組

②逆走対策 **北九州高速**

富野PAでは現在、改良工事を進めています。逆走対策として、大型矢印路面標示や側面矢印板等の設置を行うとともに、本線とPAの間にガードレールを設置して分離を行い、安全性を向上させます。また、駐車区画等の設置を行い、利用者の利便性を向上させます。



(1) お客様への案内

お客様に都市高速をより便利にご利用いただくため、ホームページによる案内のほか、リアルタイムの道路状況の情報提供や道路案内等、利便性を高める取り組みを行っています。

○SNS(LINE・X)

- 工事による規制やイベント情報など、都市高速ご利用のお客様に役立つ情報を提供しています。
- LINEのメニューを利用すると、簡単に公社ホームページにアクセスできます。



○イラスト地図「スイスイマップ」

都市高速における乗り降りの間違い、またジャンクション部の方向間違いなどを減らし、より便利で身近な道路として活用していただくため、イラスト地図「スイスイマップ」を作成し、都市高速の関係施設の他、集客施設等に常設しています。



- 【主な設置箇所】**
- ・都市高速の全ての料金所
 - ・都市高速周辺の大型商業施設
 - ・レンタカー会社
 - ・NEXCOのサービスエリア及びパーキングエリア
 - ・主要観光施設及び観光案内所
 - ・関係庁舎
 - ・自動車学校
 - ・道の駅
 - など

○ハイウェイテレホン

- 通行止や渋滞、平均所要時間などの道路状況をお電話及びホームページ等でご案内しています。
- 道路情報は約5分ごとに更新されます。

聞く！ 音声にてご案内しています。

福岡高速ハイウェイテレホン(自動音声) ☎ 092-643-1300
 北九州高速ハイウェイテレホン(自動音声) ☎ 093-931-1400

見る！ 文字にてご案内しています。

パソコンやスマートフォンからアクセスできます。

(LINE 画面イメージ)



(X 画面イメージ)



○ラジオCM

工事による規制や通行時の注意点など、都市高速の通行に必要な情報をラジオCMにより提供しています。

(1) お客様への案内

福岡高速では、ETC2.0とライブカメラによるリアルタイムの道路情報を令和6年度から提供しています。

○ETC2.0

従来のETCによる通行料金支払いに加え、新たに設置した通信アンテナと、ETC2.0対応車載器との間で通信を行い、渋滞や安全運転サポート等の情報をETC2.0対応カーナビで提供しています。



提供表示例

<p>簡易図形</p>	<p>注意喚起</p>
<p>静止画像</p>	<p>緊急情報</p>

○ライブカメラ

- ホームページにより道路状況の静止画像を提供しています。
- 静止画像は、1分ごとに更新されます。

ホームページ

凡例

- 通称名 -
- ▶ 入口
- ◀ 出口
- 環状線
- 香椎線
- 太宰府線
- 空港線
- 柏屋線
- アイランドシティ線

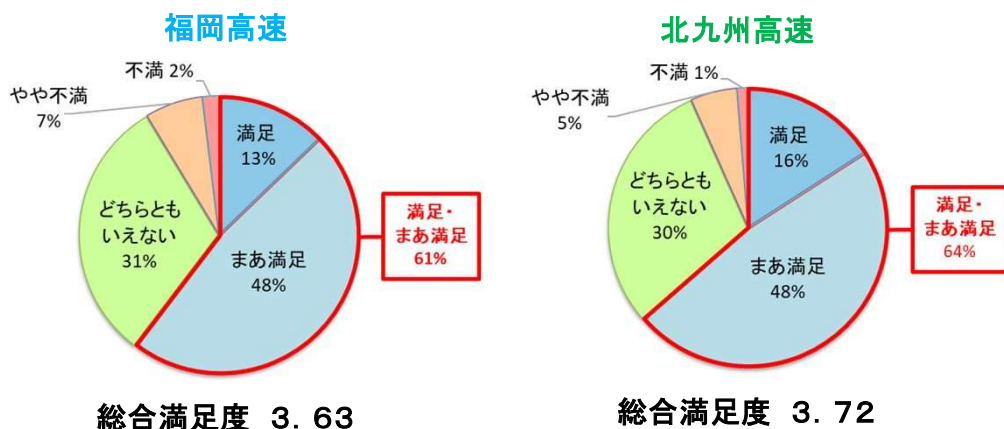
(2) お客様との対話

お客様から直接ご意見・ご要望をお聞きする取り組みを行い、施設やサービスの改善などに活かしています。

○ご意見をお聞きする取り組み

- お客様からの問い合わせ
電話に加え、ホームページの問い合わせコーナーでもお客様からご意見をお受けしています。
- 道路モニター制度
一般公募した、50名／年のモニターに、アンケート調査を実施しています。
- お客様満足度(CS)調査
2～3年おきに、調査会社による大規模アンケート調査を実施しています。

【令和7年度調査結果】



※総合満足度は5段階評価の平均値です。

○お客様のご意見を参考にした改善事例

事例①

【ご意見】 どれがETCレーンなのか分かりにくい。

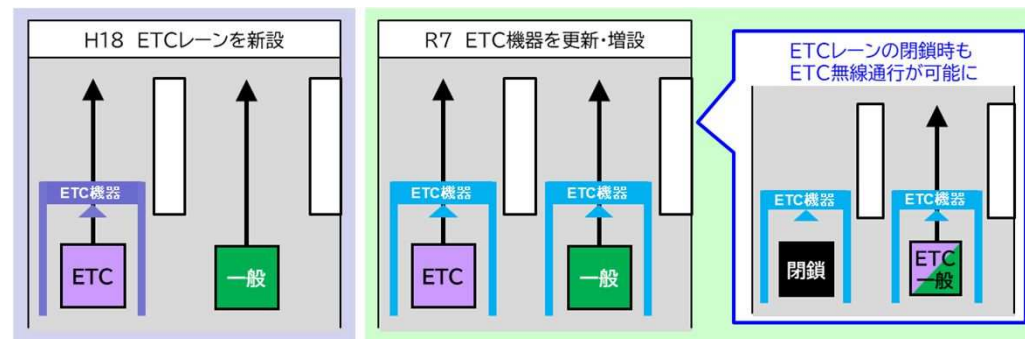
【対応】 ETCレーンをカラー舗装で分かりやすく表示しました。



事例②

【ご意見】 ETCレーンが使えないときに、料金所が混雑することがある。

【対応】 ETC未設置の一般レーンにも、ETC機器を増設しました(一部レーンを除く)。これにより、工事や点検等でETCレーンを閉鎖した際も、一般レーンの運用を変えることで、ETC利用が可能となり、運用の安定性が向上しました。



(3) 将来ビジョンの策定

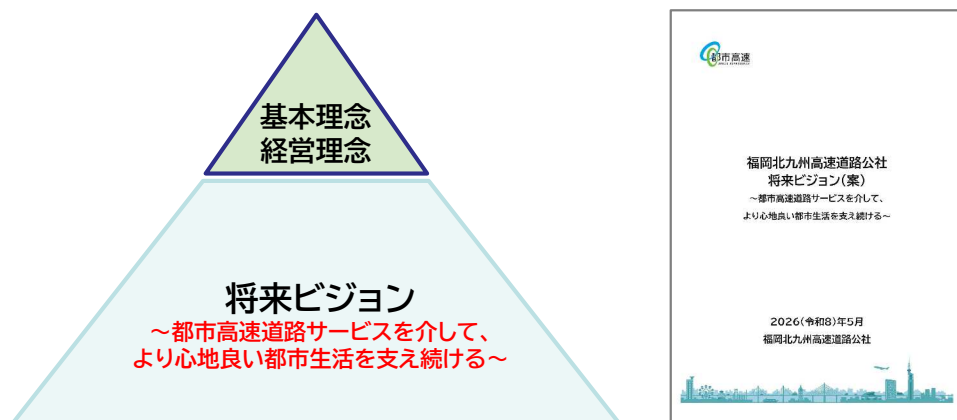
都市高速道路サービスを介して、より心地良い都市生活を支え続けるために、職員が自身の仕事に誇りを持って主体的に取り組んでいくための指針として、令和8年5月に将来ビジョンを策定しました。

○将来ビジョンの位置付け

本ビジョンは、基本理念、経営理念を上位思想とし、会社の将来を見据えた長期的な視点で、在りたい姿と課題、本ビジョンの実現に向けた取組みをとりまとめました。

■位置付け

■冊子



○将来ビジョンの行動指針

○経営理念:お客様第一

- ・行動指針① お客様の声に耳を傾け、お客様の視点で考え、行動します。
- ・行動指針② お客様のために一丸となり、部署を超えて連携します。
- ・行動指針③ 変化するニーズに対応するため、新たな可能性に挑戦します。

○経営理念:社会的責任

- ・行動指針④ 「内部統制の基本方針」を遵守します。
- ・行動指針⑤ 知識や技術の習得に励み、組織力向上を図ります。
- ・行動指針⑥ 誠意をもって行動し、皆様との信頼を築きます。

○経営理念:安定した経営

- ・行動指針⑦ 良識を持ち、業務の効率化と改善に取り組みます。
- ・行動指針⑧ 仲間を大切に、心理的安全性の高い職場づくりに努めます。
- ・行動指針⑨ 都市高速の将来を担う次世代の育成に尽力します。

(1) 道路脱炭素化推進計画の策定

令和7年度に、国の道路脱炭素化基本方針に基づき道路管理者が道路脱炭素化推進計画を策定する枠組みが導入されました。

令和8年度に、道路脱炭素化推進計画の策定に着手します。

①現在の主な取組み

■道路照明のLED化



高圧ナトリウム照明
(福岡高速1号線名島付近)

LED照明

LED化率
43.7%

=

LED灯数 6,018灯

全灯数 13,784灯

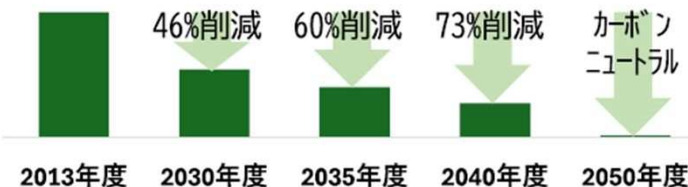
(令和8年3月31日現在)

②今後の取組み

■定量的な削減目標(基本方針)

道路全体のCO₂排出量の削減目標

(我が国全体の削減目標と同一に設定)



出典:国土交通省 道路脱炭素化基本方針(概要版)

R8年度に「福岡北九州高速道路公社
道路脱炭素化推進計画」の策定に着手